

南ユタ大学短期研修プログラム

函館校 国際協働グループ 5045 大塚麻由

はじめに

今夏、私は南ユタ大学の短期派遣プログラムに参加しました。3週間というとても短い期間でしたが、この経験は私にとって一生忘れることのない、貴重なものとなりました。

実は、渡航前日までは期待の気持ちよりも不安な気持ちのほうが圧倒的に強いものでした。私の英語力は低く、きちんと言葉が通じるのか、ホストファミリーとはうまくやっていけるのか、大学の授業にはついていけるのか、そもそも日本を離れて私はやっていけるのか……悩みの種は数えきれないほどありました。正直、参加申し込みを後悔したほどです。そもそも、参加申し込みを検討している時点で不安な気持ちが強く、参加を見送ろうか考えていたほどでした。

ネガティブな感情を抱いていた私がなぜ参加を決定したかという、これからの自分の指針を見つけ出すきっかけになるのではないかと考えたからです。実際にアメリカに行くと、ホストファミリーや現地の人々と暮らしを共有する、異なる文化圏で過ごすということは語学力の向上だけでなく、視野を広げることにつながるはずであると思いました。

尽きることのない不安な思いは日本と出国審査を通り抜けた後には軽くなりました。頑張ってみようという気持ちのほうが勝ってきたのです。

アメリカでの暮らし

アメリカ行きの飛行機へ搭乗すると、既にそこからアメリカは始まっていました。機内放送に日本語がありません。長い飛行時間を経てたどり着いたアメリカ。時間は23時、心身ともにくたくたです。いよいよ対面したホストマザー。とてもフレンドリーで優しい方で安心したのですが、自分の聞き取り能力や発音が悪く会話がうまく成立しませんでした。

私が今回ステイしたのはユタ州にあるシーダーシティという穏やかな町です。大らかな大自然と、優しい人たちの暮らすとても素敵な町でした。

私のホストファミリーは、優しいお母さんに、大らかなお父さんと可愛い4人の子どもたちです。それに馬と犬もそれぞれ2匹ずつ暮らしています。まるでドラマの世界のようです。ここでの暮らしは驚きの連続です。日本ではお目にかかれないダイナミックなアメリカの光景に毎回感銘を受けました。シーダーシティの美しい夕焼けや、星空を忘れることができません。日中はとても暑いのですが、朝と晩は車のフロントガラスが凍り付くほど寒いです。気候までダイナミックです。

こちらの方々はとても親切で、こちらがわかるようにゆっくりと話し、簡単な言い回しを用いてくれました。そのおかげでホストマザーをはじめとした大人の方や、大学の学生た

ちとの会話を楽しむことができました。しかし、子どもたちの話す言葉は聞き取りにくく、かなり会話に苦戦しました。

大学の授業

大学の授業は、教育大学から派遣された学生たちのみで構成されたクラスが主でした。午前と午後では授業を担当する先生が異なります。午前の先生は近隣小学校の先生です。授業内容の一番大きなものとしては、小学生に向けて日本文化を紹介するプレゼンテーションです。現地の子どものための学ぶ環境が垣間見えた貴重な経験でしたが、私たちのグループの番が回ってくると同時に子どもたちの迎えのバスが到着し、発表が出来ずに終わってしまったという苦い経験もあります。午後には韓国からの長期留学生を交えてディスカッションをします。議題は TOEFL の過去問題から設定されていました。イメージとしては小中学生の時に ALT の先生が主催した英語に親しむための授業といったものです。3 週間ということもあってか本格的な授業ではありませんでした。そして、アメリカの学生と交流する機会も薄かったです。そのような機会は自分で作る必要がありました。

週末のイベントとしてアメリカ国立公園のブライスキャニオンを訪れました。圧倒的な大自然の美しさに感嘆しました。

反省点

子どもをはじめとしたアメリカの人たちは日本の文化にとっても興味を持ってくれます。しかし、私は日本の文化について詳しく知ってがなく、折れる折り紙も鶴と手裏剣程度でした。もっと日本のことについて学ぶ必要があると痛感しました。

そして生来私は引っ込み思案な性格をしていて、他のメンバーのように明るく振る舞うのは難しかったです。ホストファミリーの子どもたちとは言葉が通じないことをはじめとしたさまざまな要因で心の距離を強く感じてしまい、落ち込んでしまいました。このままでは本当によくないと感じ、ホストマザーに様々なことを相談しました。そうして態度や思考を改めたら、子どもたちと仲良くなることができました。自分の生来の性格と諦めてしまわずに前向きに考え、相手に対してオープンになることの大切だという教訓が身に着きました。

素敵だったこと

この町ではすれ違う人には笑顔で挨拶をします。お買い物をするときも「調子はどう？」に始まり「いい日にしてね！」で終わります。これって日本だったら少し考え難いことですよね。出会った人たちはとても親切で、こちらが失敗し謝罪をしても「いいんだよ」と明るく返してくれます。相手に対していつもポジティブな言葉をかけます。

私はみんなが笑顔で明るいシーダーシティがとても好きです。ここで出会った人たちとの思い出は、今後の私がどのような心持でいるかの指針になりました。

最後に

今回は、多くの反省点と共に、自分の課題を見つけ出すことができました。そして、自分にできるわけがないと思っていたことに挑戦してみたら、成し遂げることができたという経験は、これからの自分の自信につながりました。今回アメリカに渡ったことで、今後の私はもっとポジティブで積極的になろうと思いました。他人のことをもっと知ろうと思い、話しかけることが大切というホストマザーからいただいたアドバイスや、子どもたちの思いやりのある性格や全力で物事に取り組み楽しむ姿は私の心に残りました。

英語力については、以前はフォローなくては会話が成立しなかった外国人教員の方との会話が楽しめるようになりました。そして、まだまだレベルが低いのでもっと勉強をしたいという気持ちが生まれました。

この3週間で本当にたくさんの貴重な経験ができたと思っています。